

考察項目別運用表(測量・地質調査)(主管課) 1 / 2

項目	細別	監督員 考 察 内 容			担当主幹等 考 察 内 容		
		加要素 (a)	加減点なし (b)	減要素 (c)	加要素 (a)	加減点なし (b)	減要素 (c)
1 業務の実 施計画段階	(1)業務の理解 (A)	☐ 業務の目的と内容を十分理解、把握していた。	☐ (a)、(c)に該当しない場合。	☐ 業務の目的と内容についての理解、把握が不十分であった。	☐ 業務の目的と内容を十分理解、把握していた。	☐ (a)、(c)に該当しない場合。	☐ 業務の目的と内容についての理解、把握が不十分であった。
	(2)事前準備 (A)	☐ 既往調査文献の参照等事前準備として十分な調査や資料整理を行った。	☐ (a)、(c)に該当しない場合。	☐ 既往調査文献の参照等事前準備としての調査や資料整理が不十分であった。	☐ 既往調査文献の参照等事前準備として十分な調査や資料整理を行った。	☐ (a)、(c)に該当しない場合。	☐ 既往調査文献の参照等事前準備としての調査や資料整理が不十分であった。
	(B)	☐ 業務の目的に照らし現地調査を十分行った。	☐ (a)、(c)に該当しない場合。	☐ 業務の目的に照らした現地調査の実施が不十分。	☐ 業務の目的に照らし現地調査を十分行った。	☐ (a)、(c)に該当しない場合。	☐ 業務の目的に照らした現地調査の実施が不十分。
	(3)打合せ協議 (A)	☐ 業務実施計画書等に関する当初の打合せにおいて、疑義についての質問及び有益な提案を行う等積極的な取組みがみられた。	☐ (a)、(c)に該当しない場合。	☐ 業務実施計画書等に関する当初の打合せにおいて、疑義についての質問等の取組みに積極性がみられない。	☐ 業務実施計画書等に関する当初の打合せにおいて、疑義についての質問及び有益な提案を行う等積極的な取組みがみられた。	☐ (a)、(c)に該当しない場合。	☐ 業務実施計画書等に関する当初の打合せにおいて、疑義についての質問等の取組みに積極性がみられない。
	(4)業務実施計画書 (A)	☐ 解析手法等の技術的な内容が適切かつ十分なものとなっており、これに基づき適切な実施手順及び工程計画となっていた。	☐ (a)、(c)に該当しない場合。	☐ 解析手法等の技術的な内容が不適切かつ不十分であって、実施手順及び工程計画の設定に適切さを欠いた。	☐ 解析手法等の技術的な内容が適切かつ十分なものとなっており、これに基づき適切な実施手順及び工程計画となっていた。	☐ (a)、(c)に該当しない場合。	☐ 解析手法等の技術的な内容が不適切かつ不十分であって、実施手順及び工程計画の設定に適切さを欠いた。
	(B)	☐ 業務実施体制（人数及び担当者の技術能力等）を適切に設定していた。	☐ (a)、(c)に該当しない場合。	☐ 業務実施体制（人数及び担当者の技術能力等）の設定が不適切であった。	☐ 業務実施体制（人数及び担当者の技術能力等）を適切に設定していた。	☐ (a)、(c)に該当しない場合。	☐ 業務実施体制（人数及び担当者の技術能力等）の設定が不適切であった。
2 業務の遂 行段階	(1)打合せ協議 (A)	☐ 打合せの時期及び内容が適切であった。	☐ (a)、(c)に該当しない場合。	☐ 打合せの時期及び内容が不適切であった。	☐ 打合せの時期及び内容が適切であった。	☐ (a)、(c)に該当しない場合。	☐ 打合せの時期及び内容が不適切であった。
	(B)	☐ 発注者との密接な連絡の実施及び疑義についての質問を行う等積極的な取組みがみられた。	☐ (a)、(c)に該当しない場合。	☐ 発注者との密接な連絡の実施及び疑義についての質問を行う等の取組みに積極性がみられなかった。	☐ 発注者との密接な連絡の実施及び疑義についての質問を行う等積極的な取組みがみられた。	☐ (a)、(c)に該当しない場合。	☐ 発注者との密接な連絡の実施及び疑義についての質問を行う等の取組みに積極性がみられなかった。
	(C)	☐ 指示及び協議事項を正確に理解し、適切な打合せ記録を作成した。	☐ (a)、(c)に該当しない場合。	☐ 指示及び協議事項の理解が正確さに欠け、打合せ記録の作成が不適切であった。	☐ 指示及び協議事項を正確に理解し、適切な打合せ記録を作成した。	☐ (a)、(c)に該当しない場合。	☐ 指示及び協議事項の理解が正確さに欠け、打合せ記録の作成が不適切であった。

考察項目別運用表(測量・地質調査)(主管課) 2 / 2

項目	細別	監 督 員 考 察 内 容			担 当 主 幹 等 考 察 内 容			
		加 点 要 素 (a)	加 減 点 な し (b)	減 点 要 素 (c)	加 点 要 素 (a)	加 減 点 な し (b)	減 点 要 素 (c)	
2 業務の遂行段階	(2) 工程管理	(A)	☐ 当初の工程管理や指示事項等を踏まえ、適切な工程管理を行い、所用の工期に余裕をもって業務を完成させた。	☐ (a)、(c)に該当しない場合。	☐ 工程管理が不適切で所用の工期ぎりぎりですべて完了した。	☐ 当初の工程管理や指示事項等を踏まえ、適切な工程管理を行い、所用の工期に余裕をもって業務を完成させた。	☐ (a)、(c)に該当しない場合。	☐ 工程管理が不適切で所用の工期ぎりぎりですべて完了した。
		(B)	☐ ミス、手戻り及び外部機関等とのトラブルがほとんどなかった。	☐ (a)、(c)に該当しない場合。	☐ ミス、手戻り及び外部機関等とのトラブルが多かった。	☐ ミス、手戻り及び外部機関等とのトラブルがほとんどなかった。	☐ (a)、(c)に該当しない場合。	☐ ミス、手戻り及び外部機関等とのトラブルが多かった。
	(3) 照 査	(A)	☐ チェックリストの作成及びチェック責任者の明示等厳格な照査を実施した。	☐ (a)、(c)に該当しない場合。	☐ チェックリストの作成及びチェック責任者の明示等厳格な照査内容があいまいであった。	☐ チェックリストの作成及びチェック責任者の明示等厳格な照査を実施した。	☐ (a)、(c)に該当しない場合。	☐ チェックリストの作成及びチェック責任者の明示等厳格な照査内容があいまいであった。
	(4) 技術力	(A)	☐ 当初の検討事項の遂行や指示事項等への対応において、十分な技術力を有していた。	☐ (a)、(c)に該当しない場合。	☐ 当初の検討事項の遂行や指示事項等への対応において、技術力が不十分であった。	☐ 当初の検討事項の遂行や指示事項等への対応において、十分な技術力を有していた。	☐ (a)、(c)に該当しない場合。	☐ 当初の検討事項の遂行や指示事項等への対応において、技術力が不十分であった。
	(5) 目的の達成度	(A)	☐ 所期の目的に照らし満足できる優れた成果をあげた。	☐ (a)、(c)に該当しない場合。	☐ 所期の目的に照らし成果のレベルが不満足であった。	☐ 所期の目的に照らし満足できる優れた成果をあげた。	☐ (a)、(c)に該当しない場合。	☐ 所期の目的に照らし成果のレベルが不満足であった。
3 業務の成果品	(1) とりまとめ	(A)	☐ 分かりやすく簡潔な表現となっている。	☐ (a)、(c)に該当しない場合。	☐ 分かりやすさ及び簡潔さとも不十分である。	☐ 分かりやすく簡潔な表現となっている。	☐ (a)、(c)に該当しない場合。	☐ 分かりやすさ及び簡潔さとも不十分である。
		(B)	☐ 業務遂行段階での指示事項等も含め検討成果を的確にとりまとめている。	☐ (a)、(c)に該当しない場合。	☐ 業務遂行段階での指示事項等も含め検討成果のとりまとめに的確さが欠けている。	☐ 業務遂行段階での指示事項等も含め検討成果を的確にとりまとめている。	☐ (a)、(c)に該当しない場合。	☐ 業務遂行段階での指示事項等も含め検討成果のとりまとめに的確さが欠けている。
		(C)	☐ 図表等の表現の工夫により、内容を理解しやすくかつ使いやすくする努力がみられる。	☐ (a)、(c)に該当しない場合。	☐ 図表等の表現の工夫により、内容を理解しやすくかつ使いやすくする努力がみられない。	☐ 図表等の表現の工夫により、内容を理解しやすくかつ使いやすくする努力がみられる。	☐ (a)、(c)に該当しない場合。	☐ 図表等の表現の工夫により、内容を理解しやすくかつ使いやすくする努力がみられない。
			☐	事故の区分	☐ 業務関係者に重傷者が発生した等の事故。	☐ 業務関係者に死亡者が発生した等の重大事故等。	☐ 公衆に負傷者もしくは死亡者が発生した等の重大事故。	
		0点	考察点	-5点	-10点	-15点		

考察項目別運用表(測量・地質調査)(検査員)

検査員考察内容				
項目	細別	加点要素 (a)	加減点なし (b)	減点要素 (c)
1 業務の実 施計画段階	(1)業務の理解 (A)	☒ 業務の目的と内容を十分理解、把握していた。	☒ (a)、(c)に該当しない場合。	☒ 業務の目的と内容についての理解、把握が不十分であった。
		(B) ☒ 解析手法等の技術的内容、実施手順、工程計画及び照査等業務実施計画書が適切かつ十分なものとなってい	☒ (a)、(c)に該当しない場合。	☒ 解析手法等の技術的内容、実施手順、工程計画及び照査等業務実施計画書が適切さに欠け不十分。
2 業務の遂 行段階	(1)技術力 (A)	☒ 常に創意工夫し、調査等の目的に照らし、必要な検討作業事項や今後の検討方針等の積極的かつ的確な提案を行った。	☒ (a)、(c)に該当しない場合。	☒ 創意工夫がみられず、かつ調査等の目的に照らし、必要な検討作業事項や今後の検討方針等に対する積極的な取組みがみられなかった。
		(B) ☒ 現地調査等の事前準備の結果を業務に十分考慮して作業を進めた。	☒ (a)、(c)に該当しない場合。	☒ 現地調査等の事前準備の結果を十分成果に反映させなかった。
3 業務の成 果品	(2)とりまとめ (A)	☒ 仕様書及び打合せ等により必要とされた事項を完全かつ広範囲に網羅している。	☒ (a)、(c)に該当しない場合。	☒ 仕様書及び打合せ等により必要とされた事項の掘り下げが不十分。
		(B) ☒ 目的、条件、内容、結果及び課題が簡潔で、かつ理解しやすく、しかも重要な点がわかる。	☒ (a)、(c)に該当しない場合。	☒ 目的、条件、内容、結果及び課題が簡潔さに欠け理解しにくく、さらに重要な点がわかりにくい。
		(C) ☒ 記載方法に創意工夫がみられ綺麗で見やすく、かつ読みやすい。また、誤字脱字がない。	☒ (a)、(c)に該当しない場合。	☒ 記載方法に創意工夫がみられず、見づらい。また読みにくく、誤字脱字が多い。
		(D) ☒ 契約関係書類及び打合せ資料等必要な書類がきちんと整っている。	☒ (a)、(c)に該当しない場合。	☒ 契約関係書類及び打合せ資料等必要な書類の整理が不十分。
	(3)照 査 (A)	☒ チェック方法に努力と工夫がみられた。	☒ (a)、(c)に該当しない場合。	☒ チェック方法にほとんど努力工夫がみられず、信頼性に欠ける。
		(B) ☒ 計算間違い及び図面の書き誤り等の単純ミスが最終成果にほとんどなかった。	☒ (a)、(c)に該当しない場合。	☒ 計算間違い及び図面の書き誤り等の単純ミスが最終成果に頻繁にあり、やり直しを命じた。